

大腸菌による菌血症を伴う感染症の臨床像と病原因子の研究のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：2021年3月16日～2025年3月31日

〔研究課題〕

大腸菌による菌血症を伴う感染症の臨床像と病原因子の研究

〔研究目的〕

血液培養検体から大腸菌が検出された患者さんに焦点をあて、感染症の発生状況や発生しやすい状況をカルテ記録や検査結果をもとに分析します。比較として、血液培養以外の検体から検出された大腸菌についても同様に分析します。これにより、感染症治療を改善させ、有効な感染対策を行うことを目的とします。

〔研究意義〕

大腸菌の感染症、中でも重篤な病態である敗血症について、感染症を起こしやすい患者さんの状態が何かを明らかにすることにより新たな治療法や予防法が見出される可能性があります。

〔対象・研究方法〕

2005年1月～2020年11月の診療で18歳以上の患者さんを対象に、カルテに記録されている微生物検査、血液検査や尿検査結果、画像検査、病理検査などのデータや受けた医療処置および治療薬の情報などを収集して行う研究です。また、微生物検査室に提出され検査された残りの検体を使用して、微生物を検出して、その病原性を調べます。菌の遺伝子情報を調べることもありますが、あなたのゲノム情報を調べることはありません。

〔研究機関名〕

帝京大学医学部附属病院および東京大学医学部附属病院

〔個人情報の取り扱い〕

この研究に関わる成果は、他の関係する方々に漏えいすることのないよう、慎重に取り扱う必要があります。あなたの血液・尿検体や診療情報・データは、分析する前に氏名などの個人情報を削り、代わりに新しく符号をつけ、どなたのものか分からないようにした上で、当研究室において厳重に保管します。研究終了後は、「研究終了後資料保管申請書」に記録リストを添付し、記録類一式とともに倫理委員会事務局に提出し、保管した情報は手順書に従い、臨床研究センター(TARC)にて10年保管の後に廃棄します。

〔その他〕

今回の研究に必要な費用について、あなたに負担を求めることはありません。また、あなたへの謝金はありません。

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願ひ申し上げます。

問い合わせ先

研究責任者: 若林義賢(講師:内科学講座)

研究分担者: 吉野友祐(病院准教授:微生物学講座) 北沢貴利(病院教授:内科学講座)

所属: 帝京大学医学部内科学講座

住所: 東京都板橋区加賀 2-11-1 TEL: 03-3964-1211 (代表) [内線 7582]